



かがやき

西橋北小学校

学校だより

No.32

平成 24 年 1 月 13 日

新年明けましておめでとうございます

(文責:後藤 達人)



平成 24 年の幕開けです。年始を迎えた西橋北小学校では、生花ボランティアの水谷さんの作品が、正月気分を楽しく醸し出してくれています。今年の干支の辰をモチーフにした手作り花器に、新春の花にふさわしいスイセンが生けられています。もう一つ、違ったタイプの辰の花器もあり、子どもたちもびっくりしながらのぞき込み、楽しんでます。たいへんありがたい奉仕で、水谷さんには、心より感謝申し上げます。

3 学期の始業式で

さて、1 月 10 日(火)には、第 3 学期の始業式を行いました。久しぶりに子どもたちが戻ってくると、なぜかウキウキした気分になります。どの子も集団登校で、元気よく登校し、あいさつを交わすことができ、とてもうれしくなりました。この日は、地区のあいさつ運動の日でもあり、保護者の方や地域の方もあちらこちらで子どもたちを見守ってくださいました。



式では、3 学期が 1 年のまとめであり、今まで学習してきたことや目標に掲げてきたことなどを振り返り、きちんと自分のものにしていくために努力してほしいと話しました。

また、2 学期からの継続として、自分を好きになることやみんなで気持ちよく生活することを本気で実践しようと呼びかけました。子どもたちは、みんな真剣な表情で聞いてくれるので、話す方としても気持ちよく話を続けることができます。うれしいです。

その後、きれいな声で校歌を歌いました。平成 24 年に歌う最初の校歌です。今日から、2 人の転入児がありました。きっと緊張して聞いていたのでしょうね。でも、式の最後にあった自己紹介では、全校児童を前にして、堂々と自分の名前や気持ちを伝えることができ、ほっとしたことだと思います。みんなから、温かい拍手を受け、うれしそうな表情を見せていました。これから、みんなと一緒に、楽しく、元気に、仲良く学校生活を満喫してほしいと願っています。



3 学期は、特に短い学期です。先を見通して、計画的に、そして、着実に歩を進めることができるよう、しっかりと支援・指導していきたいと思えます。ご家族、保護者の皆様とも連携を深め、子どもたちの幸せのために、ともに手を取り合い、協働していきましょう。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

休憩時間中の避難訓練

1月11日(水)には、休憩時間中の避難訓練を行いました。始業式の日、今週中のいつか、休憩時間に避難訓練を行うことを子どもたちには知らせてありました。

20分休みに、突然非常ベルが鳴り、訓練が始まりました。事前に、各学級で指導はされていましたが、いざ始まってしまうと、落ち着いて行動できません。「しゃがむ」こと一つとっても、うまくできなくなってしまう子もいました。

ボールをつきながら集合してくる子、おしゃべりに夢中になっている子、きちんと並べない子など、合格点を与えるには、少し抵抗を感じました。4月11日の避難訓練以来の訓練失格となりました。子どもたちの反応は、ちょっと意外でした。

なぜ、今回の避難訓練が失格となったのか分からない子の数が、多いのです。自分では、きちんとできていると思っているようです。これは、なかなか厳しいですね。大切な事柄をしっかりと理解できるまで、根気よく指導を続けていく必要がありますね。確認をしながら、一つ一ついいいに、確実に進めていきたいと思えます。



冬のひまわり

年末の12月26日は、四日市市内でもかなりの積雪がありました。そのような中で、No.31でお伝えしたあのひまわりが、雪の中で大きな花を咲かせました。透明な傘をさしかけた用務員の神田橋さんの思いが通じ、見事に咲いてくれました。あいにく冬休み中で、子どもたちも見ることができませんでしたが、写真を撮っておきましたので、ご覧ください。

紙面では、きれいに見ることができませんが、学校のホームページで見ることができます。また、次回発行の中日ホームニュースでも、たぶんこのひまわりが登場すると思います。「雪とひまわり」なかなか珍しい光景ですが、我が家でも、4~5年間、冬のひまわりを育てたことがあります。雪の日に咲いていた年もあったことを思い出します。みなさんも挑戦してみてください。



学級での自治活動の推進

新学期が始まると、各学級では、新しい係を決める活動が行われます。今日は、3年生の学級で、3学期の最初の係活動の編成が行われていました。

自分たちの学級を、自分たちで切り盛りしていくことを、みんなで決めていくわけです。人気の係やそうでない係もあります。じゃんけんで決めることもあるでしょう。そうやって、社会性を養います。

じゃんけんに勝った子どもに、ちょっと言ってみました。「友達に譲るとどっちも気持ちよくなるよ。」。そうしたら何と、「次は譲ってみる。」と言ってくれました。うれしいじゃありませんか。

